



町道忠類北 10 線道路の交通安全対策の  
早期実現を求める陳情書

平成 25 年 2 月 20 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

陳情者 忠類地域公区長連絡協議会  
(代表者) 会長 芹沢 勇 治



陳情趣旨

地域住民の散歩コースでもある町道忠類北 10 線道路で、平成 22 年と 24 年に 2 件の悲惨な交通死亡事故が起きております。この町道は、道路敷地が狭いため歩行者の歩くスペースや車とのすれ違いの時に避ける場所がなく、特に、大型車両のときは風圧で側溝まで飛ばされるなど、大変危険な道路であります。

また、この町道は、最近高規格道路の工事現場にも繋がり、更別方面からの一般車両の交通量も増えてきている状況から、歩行者の安全確保のため歩道の設置が緊急課題であります。

つきましては、歩道設置までの対策としてとりあえず、法面の枝等の伐採、路肩の草刈等や看板の設置、道路面にペイントでの表示等自動車の運転手に注意を促す対策も肝要であります。更に、応急的にでも今の敷地の範囲のなかで、歩行者のための待避場として、数か所でも路側帯の拡幅を考えるなども必要と思えます。

これ以上、悲惨な事故を繰り返さないためにも、地域住民の生命に関する緊急事項として、早期実現方をお願い申し上げます。